

R 3年2月15日(月)  
部長会議資料

# 電気自動車(EV)を活用した 日産自動車(株)等と長野地域9市町村の 環境・災害連携協定締結について



環境保全温暖化対策課  
企画課  
危機管理防災課

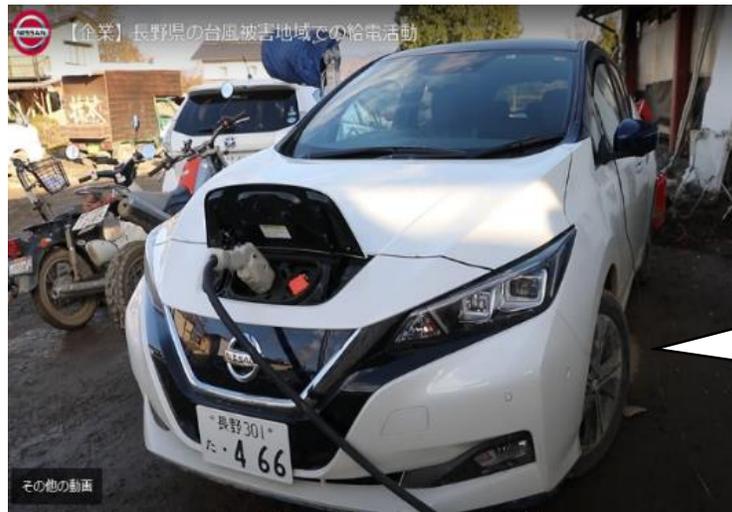
# 電気自動車（EV）の利点 ～災害時の利活用～

## ◆EVの利点、実績

- ・ 排気ガスが出ない。
- ・ **燃料費、CO2排出量ともにガソリン車比で約8割減**
- ・ 静粛性が高い。
- ・ 航続可能距離が伸びている。（初期型リーフ200km→現行型570km）
- ・ **災害時には非常用電源としての活用も可能**  
（一般家庭4日分相当の電気を供給可能）

今回協定締結  
のきっかけ

## ◆災害時の利活用事例：令和元年東日本台風被災地での活躍の様子（10/24～12/27）

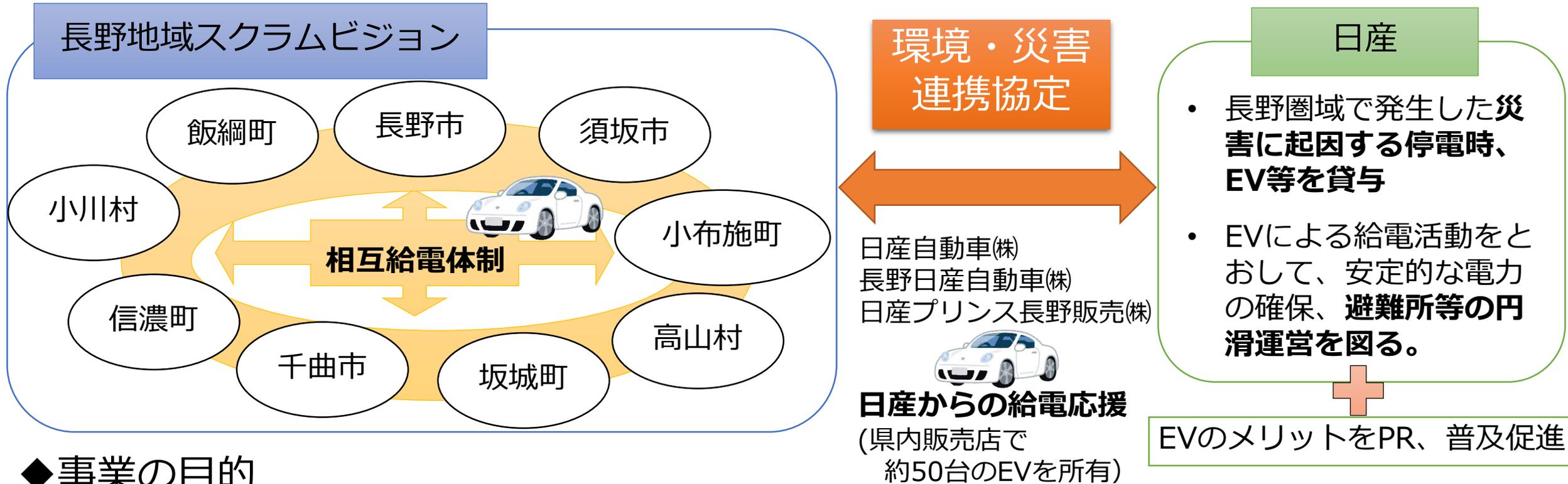


- 日産の協力で、津野サテライト（ボランティアセンター）にて給電活動
- 小型家電や照明、スマホ・工具のバッテリー充電などに活用

### ◎ 実際の利用者の声

- ・ 静粛性が高く、会議や就寝時にも気にならなかった。
- ・ 移動してどこでも給電できる点が便利だった。

# 日産・長野地域9市町村 環境・災害連携協定事業スキーム



## ◆事業の目的

- 日産との連携で、災害発生時にEVを活用して避難所等の電源確保を図る。
- 連携自治体所有EVによる相互給電体制の構築 (令和3年度長野市もEV (議長車)、給電機を導入予定)  
※EVなどの導入に国の特交 (8/10) を活用
- EVのさらなる普及促進を図る。

長野市ではこれまで、EV普及促進のため庁用車に率先導入 (現在3台) を図ってきたが、今後もEV導入の検討を継続しつつ、災害時の給電利用などEVのメリットを環境学習でPRする。

## 協定締結式までのスケジュール

---

- 2月15日 部長会議(報告)
- 2月16日 政策説明会
- 2月17日 長野地域連携中枢都市圏構想(長野地域スクラムビジョン)  
令和2年度 第2回 長野地域連携推進協議会に合わせ

「電気自動車を活用した脱炭素社会の実現と災害対応力強化  
に係る連携協定」締結式

- 協定式 : 15:40~16:20  
(締結式 15:40~/給電デモ 16:03~)
- 場所 : ホテルメルパルク長野 (3階 瑞鳳)
- 登壇者 : 長野地域連携中枢都市圏 各代表者 (9市町村)
  - 日産自動車(株) 神田理事様
  - 長野日産自動車(株) 富田社長様
  - 日産プリンス長野販売(株) 金井社長様